

DX BROADTEC

ブルーレイディスクプレーヤー 形名 **DXBP2**

取扱説明書



AVCREC™

AVCHD™

BONUS VIEW™

Kodak
Picture CD
COMPATIBLE



x.v.Color

Java™
POWERED



こんな使い方もできる！

USBカードリーダー(市販品)を接続すると、
SDカード(市販品)に保存されたAVCHD(動画)や
JPEG形式のファイル(静止画)もご家庭のテレビでご覧いただけます。

使用になる前に

接続する

再生する

設定

その他

ご使用になる前に

安全上のご注意	3
使用上のお願い	5
ディスクの取り扱い	5
ご注意	5
レーザーピックアップについて	5
リモコンの取り扱い	5
結露(つゆつき)について	6
本機の置き場所や取り扱い	6
本機やリモコンのお手入れ	6
修理について	6
付属品を確認する	6
この取扱説明書の見かた	7
本機で使用している登録商標について	7
各部の名前とはたらき	8
前面	8
後面	8
リモコン	9

接続する

テレビとの接続	10
オーディオシステムとの接続	10
接続が完了したら	11
スタートメニューについて	11

再生する

再生に関する情報	12
再生できるメディアとファイル	12
再生可能なJPEG形式のファイル	12
再生できるSDカード	12
本機で再生できる記録方式について	13
再生できないメディアとファイル	13
著作権について	13
再生の前に	14
本機の操作、設定のしかた	14
ディスクの入れかた	14
USBメモリーの接続のしかた	14
再生中の情報を表示する	15
ディスクおよびUSBメモリーの構成について	15
レジューム機能について	15
BD、DVD、AVCHDを再生する	16
種類の異なるファイルが入っている	
ディスクを再生する	16
ディスクに記録されているメニューを使う	16
BD(BDAV)、DVD(AVCREC/VR)のディスクの再生をする	17
JPEG ファイルやピクチャー CD を再生する	18
音楽用 CD を再生する	19
USB メモリーを再生する	19

いろいろな再生	20
早送り/早戻し	20
スロー再生	20
コマ送り再生	20
サーチ機能を使う	20
頭出しをする	20
サーチモード	20
音声を切り換える	21
字幕を切り換える	22
リピート再生	22
映像を補正する	23
ノイズを軽減する	23
超解像設定を設定する	23
アングルを切り換える	24
PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー) (BONUSVIEW)の設定	24

設定

設定	25
HDMI CEC (HDMI機器制御)について	29
解像度設定について	29
ソフトウェアの更新について	34
ライセンス情報	35

その他

故障かな?と思ったときは	36
用語解説	38
言語コード一覧	40
主な仕様	41
保証とアフターサービス	43

安全上のご注意

◆ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

◆ 図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行なわないでください



絶対に分解・修理はしないでください



絶対に触れないでください



絶対に水にぬらさないでください



絶対にぬれた手で触れないでください



指のケガに注意してください



必ず指示にしたがい、行なってください



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください



手をはさまないよう注意してください



警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く



プラグを抜く

煙がでている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。



分解禁止

キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない

火災や感電の原因となります。また、レーザー光が目にあたると、視力障害をおこす原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



禁止

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



使用禁止

落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水でぬらさない

火災や感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。



指示

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



AC100V

電源はAC(交流)100Vを使う

AC(交流)100V以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

タコ足配線をしない

火災の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

警告



禁止

可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

- ◆ 引っ張らない
- ◆ ねじらない
- ◆ 無理に曲げない
- ◆ 束ねない
- ◆ 加熱しない
- ◆ 加工しない
- ◆ 上にものをせない

コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。電源コードの心線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。



禁止

異物を入れない (特にお子様にご注意を)

トレイ開閉口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、コード類や本体には触れない

感電の原因となります。

注意



禁止

設置時は、次のような場所には置かない

- ◆ 湿気やほこりの多い場所
- ◆ 油煙や湯気が当たる場所
- ◆ 直射日光の当たる場所
- ◆ 熱器具の近く
- ◆ 閉めきった自動車内など、高温になる場所

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。



禁止

風通しの悪いところ、狭いところに置かない

- ◆ 本体後面の通気口をふさがない
- ◆ 押し入れや本棚などに押し込まない
- ◆ じゅうたんや布団の上に置かない
- ◆ テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。



禁止

テレビなどの重いものを上に置かない

- ◆ 上にのらない
(特にお子様にご注意を)
- ◆ トレイの前に物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。



手はさみ注意



指のケガに注意

トレイ開閉口に手を入れない (特にお子様にご注意を)

手がはさまれ、けがの原因となることがあります。万一、手がはさまれたときは、無理に引き抜かず、電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。



内部清掃

5年に一度は、内部の清掃を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行なうのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。



ほこりを取る

電源プラグのほこりなどは定期的に 取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどが付いたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。



禁止

接続したまま移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。また、ディスクは取り出しておいてください。



プラグを抜く

長時間の外出や旅行のときは、 電源プラグをコンセントから抜いておく

火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグを コンセントから抜いて行なう

感電の原因となることがあります。

乾電池は正しく使う



正しく使う

- ◆ プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる
- ◆ 必ずマイナス(-)側から入れる
- ◆ 使いきったら、すぐに取り出す

間違えると、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。液が眼に入ったときは、すぐにきれいな水でよく洗ったあと、医師の治療を受けてください。

乾電池は指定以外のものを使わない



禁止

- ◆ 種類の異なるものを混せて使わない
- ◆ 新しいものと古いものを混せて使わない

指定以外のものを使うと、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。液が眼に入ったときは、すぐにきれいな水でよく洗ったあと、医師の治療を受けてください。



禁止

乾電池は分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない



使用禁止

乾電池を充電しない 充電式の電池は使用しない



プラグを持つ

電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



使用禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

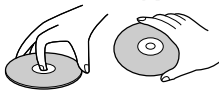
飛び散ってけがの原因となることがあります。

使用上のお願い

ディスクの取り扱い

- 再生面に触れないようにディスクの端を持ってください。

- 紙やシールなどを貼ったり、傷をつけたりしないでください。



- 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かない。



- 使用後は、所定のケースに入れて、保管してください。ケースにいれずに重ねたり、



- ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。

- お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外のほうへ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。

- ベンジン、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

- 本機で利用できるディスクについては、P.12ページをご覧ください。

ご注意

- 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、映像または、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。

- 次のような場合に、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、テレビと本機を離してください。

- 本機の上に、テレビを直接置いたとき。
- テレビの上に、本機を直接置いたとき。

レーザーピックアップについて

- この取扱説明書の該当部分と「故障かな?と思ったときは」をお読みになり、操作を行っても本機が正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。修理については、お買い上げの販売店または「お客様相談室」にご相談ください。(P.裏表紙)

リモコンの取り扱い

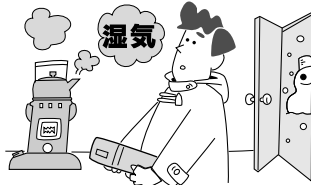
- リモコンで操作できる距離が短くなってきた場合は、乾電池が消耗しています。すべて同時に新品に交換し、新旧を混ぜて使用することは避けてください。付属の乾電池は動作確認のため、通常より寿命が短い場合があります。
- 長期間で使用にならないときは、乾電池を取り出し、してから保管してください。

結露(つゆつき)について

■ 結露ってどうなるの？

暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを**結露(つゆつき)**とよびます。本機を…

- 寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋で操作するとき。
- 湿気の多いところで使うとき。
- エアコンのそばなど、直接冷風の当たる場所で使うとき。



など、内部で結露が起こったり、内部のレンズにつゆ(水滴)がつき、正しく動作しないことがあります。

■ よく乾燥させてからお使いください。

- このようなときは、**電源を「入」にしたまま、しばらく乾燥のため放置**して、湿気がなくなるまで操作しないでください。乾燥すると、正常に動作するようになります。



- 結露が起こりそうなときは、よく乾燥させてからお使いください。

- 本機を移動させたあとなどはすぐに使用せず、**電源を「入」にしたまま、しばらく乾燥のため放置**して、湿気がなくなるまで操作しないでください。

本機の置き場所や取り扱い

- タテ置きではご使用できません。
- 高温状態をさけてください。
- 持ち運びの際、窓を閉めきった自動車の中など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 本機内部の放熱をよくするために、本機後面と壁やテレビ台などの周辺物との間は、10cm以上空けてください。
- 本機をご使用中、使用環境によっては本体やキャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してご使用ください。
- 砂に注意しましょう。
- 砂浜や砂ぼこりの多いところで使用する場合は、砂などが内部に入らないようにしてください。
- 携帯電話、トランシーバーなどの強い電波を発生するものの近くに置かないでください。電波の影響で本機が動かなくなります。
- テレビやラジオの近くに置くと、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。このような場合は、テレビやラジオから離してください。
- ご使用にならないときは、必ず  と  を押してからディスクを取り出し、電源を切ってください。
- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。



- 国外では使えません。

- 本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

- This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機やリモコンのお手入れ

- ベンジン、シンナーなどでふかないでください。
- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。アルコール/ベンジン/シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、濡れた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんは使わないでください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。
- お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

修理について

- 本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。
- 電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

付属品を確認する

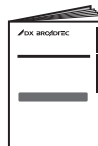
お買い上げいただいた商品の開梱時に、以下の付属品が付属されているか確認ください。



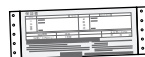
リモコン(型番:NC085JH)

単4乾電池(1.5V 2個)

※リモコン動作確認用



取扱説明書(本書)



保証書

- 欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、それぞれの機能に対応しているメディアを下記のアイコンで表記しています。アイコンは、各説明項目の見出し下部に記載しています。

アイコン	説明	アイコン	説明
	BDビデオディスク、またはBDMVモードで記録されたBD-RE(ver.2.1)/BD-R(ver.1.1/1.2/1.3)で楽しめる機能を表します。		AVCRECモードで記録されたDVD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。
	BDAVモードで記録されたBD-RE(ver.2.1)/BD-R(ver.1.1/1.2/1.3)で楽しめる機能を表します。		AVCHDファイルが記録されたDVD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。
	DVDビデオディスク、またはビデオモードで記録されたDVD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。		音楽用CDまたはDTS-CDで楽しめる機能を表します。
	VRモードで記録されたDVD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。		JPEGファイルが記録されたBD-RE/-R、DVD-RW/-R、CD-RW/-RまたはUSBメモリーで楽しめる機能を表します。

※アイコンの記載がない項目については、12、13ページを参照してください。

本機で使用している登録商標について



HDMI、HDMIロゴおよび High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。



"Blu-ray Disc"、"Blu-ray" 及び "Blu-ray Disc" ロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーの商標です。



"BONUSVIEW"はBlu-ray Disc Association の商標です。



"x.v.Color" および "x.v.Color" ロゴは、ソニー株式会社の商標です。



"AVCHD" および "AVCHD" ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。



DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。



"AVCREC" および "AVCREC" ロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。



Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



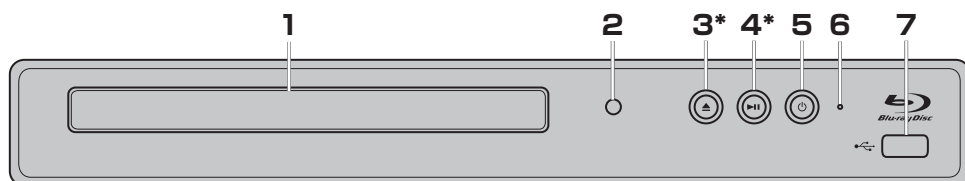
KODAK and the KODAK trade dress are trademarks of Kodak used under license.



For DTS patents, see <http://patents.dts.com>.
Manufactured under license from DTS Licensing Limited.
DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0 + Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

各部の名前とはたらき

前面



* の記されているボタンを押しても、電源を入れることができます。

1 ディスクトレイ

2 リモコン受光部

3 ▲ (トレイ開/閉)ボタン*

4 ▶|| (再生/一時停止)ボタン*

- ディスクの再生を開始します。
- 再生中に押すと一時停止をします。

5 〇 (電源)ボタン

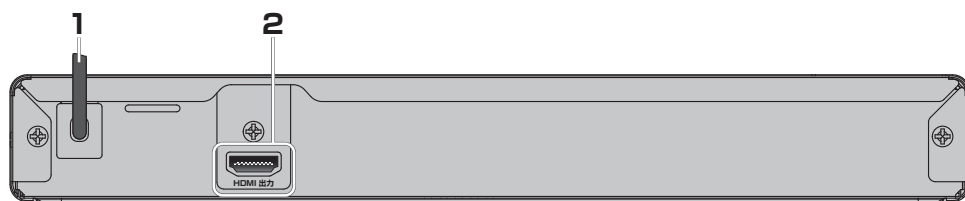
- 電源を「入」、または本機をスタンバイ状態にします。
(本機の電源を完全に切るには、電源コードを抜いてください。)

6 電源ランプ

- 本機が起動中に点滅します。電源が入ると点灯します。
- 本機がリモコン信号を受信すると素早く点滅します。

7 USB ポート

後面



1 電源コード

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 完全に本体の電源を切るには、電源コードをコンセントから抜いてください。

2 HDMI出力端子

- HDMI入力端子付きテレビにHDMIケーブルで接続します。

お知らせ

- 端子内部のピンには絶対に触れないでください。
静電気を引き起こし、故障の原因になることがあります。

リモコン電池の入れかた

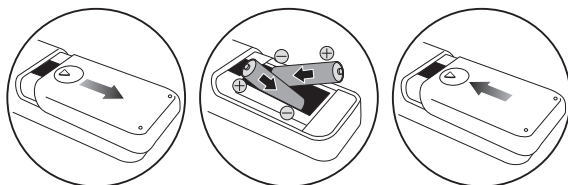
単4乾電池(1.5V 2個)をリモコンの乾電池収納部に入れます。

1) ふたをはずす

2) 電池を乾電池収納部の表示通り正しく入れる

- (+)(-)を確かめる ※(-)側を先に入れる

3) ふたを元通りにする

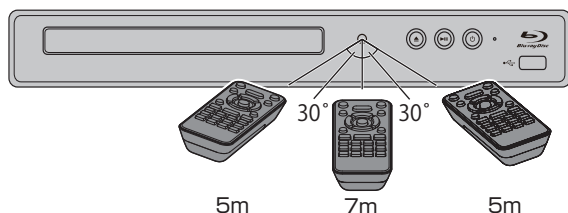


リモコンの操作方法

以下の点に注意してリモコンをご使用ください。

- リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
- 日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっている場合、リモコンが動作しないことがあります。
- 違う電子機器のリモコンが、それぞれのリモコン操作の妨げとなる場合があります。
- ほかの電子機器のリモコンを本機の近くで使用しないようにしてください。
- リモコンの受信許容範囲内でご使用ください。

(正面)	約 7m 以内
(左右)	約 30° の範囲で、約 5m 以内
(上)	約 15° の範囲で、約 5m 以内
(下)	約 30° の範囲で、約 3m 以内



リモコン

本機は基本的にリモコンで、操作、設定を行ないます。
本書での操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。



1 電源のボタン

- 電源を「入」、または本機をスタンバイ状態にします。(本機の電源を完全に切るには、電源コードを抜いてください。)

2 ディスクメニューボタン

- 再生中、トップメニューやポップアップメニューを表示します。

3 カーソルボタン ▲/▼/◀/▶

- アイテムや設定を選択します。

4 サーチボタン

- サーチメニュー画面を表示します
- 数字入力画面を表示します。

5 ◀◀(早戻し)ボタン

- 再生中に早戻しをします。

6 ▶▶(再生)ボタン

- 再生またはレジューム再生します。
- 電源が「切」の場合は、電源を「入」にします。

7 ◀◀(戻しスキップ)ボタン

- 再生中、一度押すことで再生しているタイトル、チャプター、トラック、またはファイルの始めに戻ります。
- 再生中、二度押すことで一つ前のタイトル、チャプター、トラック、またはファイルに戻ります。
- JPEGの再生中、一つ前のファイルに戻ります。

8 ■(停止)ボタン

- 再生を停止します。

9 画面表示ボタン

- 再生中のメディアに関する情報を画面表示します。

10 リピートボタン

- リピート設定画面を表示します。

11 青/赤/緑/黄ボタン

- BDコンテンツ内のアイテムを選択するときを使用します。
- ファイルリストまたはサムネイル画面表示中、ページを切り換えます。

12 トレイ開/閉ボタン

- ディスクトレイを開閉します。
- 電源が「切」の場合は、電源を「入」にします。

13 スタートメニューボタン

- スタートメニュー画面を表示します。

14 再生メニューボタン

- 再生中に設定できる項目を表示します。

15 決定ボタン

- 設定を決定したり、メニュー画面で項目を選択します。

16 戻る ◀ ボタン

- 一つ前の設定画面に戻ります。

17 ▶▶(早送り)ボタン

- 再生中に早送りをします。
- 一時停止中にスロー再生をします。

18 ▶▶(送りスキップ)ボタン

- 再生中、次のタイトル、チャプター、トラック、またはファイルにスキップします。
- 一時停止中、押すたびに1コマずつ再生します。

19 ||(一時停止)ボタン

- 再生を一時停止します。

20 音声切換ボタン

- 音声設定画面を表示します。

21 字幕切換ボタン

- 字幕設定画面を表示します。

リモコンと乾電池についてのご注意

- リモコンに液体などをかけないようにしてください。
- リモコンを落とさないようにしてください。
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。(※付属の乾電池は動作確認用です。)
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

アルカリ乾電池ご使用のご注意

- アルカリ乾電池は、被覆がやぶれたり、はがれたりしてないものをご使用ください。外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆がはがれている場合)に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。

接続する

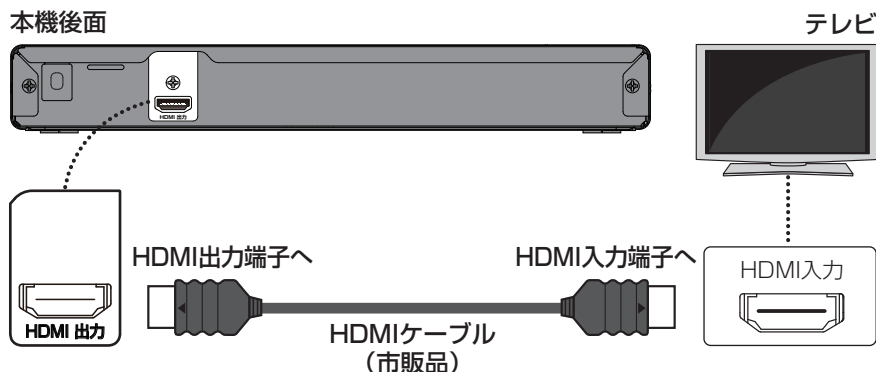
接続を始める前に

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

テレビとの接続

本機のHDMI出力端子とテレビのHDMI入力端子を市販のHDMIケーブルで接続します。

- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(**HDMI**™)の表示があるケーブルをお使いください。



HDMI機器制御に対応しているテレビと本機をHDMI端子を使ってつなぐと、本機の動作とテレビの動作を連動して行なえる「HDMI機器制御」が使えます。詳しくは『HDMI CEC (HDMI機器制御)について』(P.29ページ)をご覧ください。

お知らせ

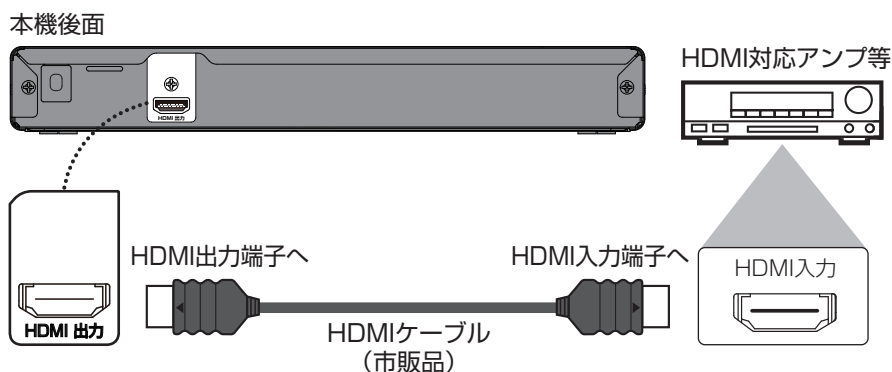
- 接続の際は、端子の形と方向を確かめ正しい方向でまっすぐ接続してください。
- お使いのテレビがHDCP非対応の場合、著作権保護を含む映像は正しく出力されない場合があります。

オーディオシステムとの接続

接続に関する詳しい情報は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

本機のHDMI出力端子とオーディオ機器のHDMI入力端子を市販のHDMIケーブルで接続します。

- HDMI出力の音声設定については、『HDMI設定』の『音声出力設定』(P.28ページ)をご覧ください。



接続が完了したら

本機とテレビの電源を入れ、テレビのチャンネルを本機を接続した外部入力に切り換えてください。

1 電源を押して本機の電源を入れる



2 テレビの電源を入れる

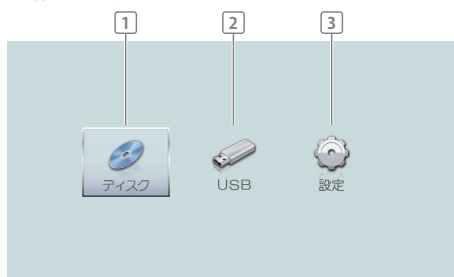
3 テレビのチャンネルを本機を接続した外部入力に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

スタートメニューについて

本機の電源を入れると、スタートメニューが表示されます。

スタートメニューでは再生したいメディアの選択やいろいろな機能の設定をすることができます。スタートメニュー画面が表示されない時は **スタートメニュー** を押してください。



- ① ディスク
ディスクに記録されたコンテンツを再生します。
- ② USB
USB メモリーに記録されたコンテンツを再生します。
- ③ 設定
いろいろな機能の設定をします。

再生に関する情報

再生を始める前に、以下の情報をお確かめください。

再生できるメディアとファイル

本機で再生できるメディアとファイルは次の通りです。

	再生できるメディア	再生できるファイル	ロゴ	ディスク盤の大きさ
BD	BD-RE (Ver. 2.1)	BDMV ※ BVAV ※		12cm / 8cm 片面 1 層、片面 2 層
	BD-R (Ver. 1.1 / 1.2 / 1.3)	JPEG		12cm / 8cm 片面 1 層、片面 2 層
	BDビデオ	-		12cm 片面 1 層、2 層
DVD	DVD-RW	AVCREC ※ AVCHD ※		12cm / 8cm 片面 1 層
	DVD-R	JPEG		12cm / 8cm 片面 1 層、片面 2 層
	DVDビデオ	-		12cm 片面 1 層、2 層、12cm 両面 2 層、 8cm 片面 1 層
CD	CD-RW	JPEG		12cm / 8cm ディスク
	CD-R	JPEG		12cm / 8cm ディスク
	CD-DA (音楽用CD)	-		12cm / 8cm ディスク
	ピクチャーCD	JPEG	-	12cm ディスク
	DTS-CD	-	-	12cm ディスク
USB	USB メモリー	JPEG	-	USB メモリー ● USB 端子で接続可能なSDカードリーダー (市販品)を本機に接続すると、SDカード (市販品)もお使いいただけます。

※すべてのファイルの再生を保証するものではありません。

再生可能なJPEG形式のファイル

本機では、以下のJPEG形式のファイルが再生できます。(異なるJPEG形式のファイルは再生できない場合があります。)

- JPEGをディスクに書き込む場合はUDF、ISO9660またはJOLIJETフォーマットで書き込んでください。

JPEG	
画像サイズ	最小：32 × 32ピクセル 最大：4,096 × 4,096ピクセル サブサンプリング 4：4：4) 5,120 × 5,120ピクセル (サブサンプリング 4：2：2以下)
ファイルの容量	最大：12MB

お知らせ

- ディスクや本機により禁止されている操作が行なわれると、操作中にテレビ画面の右上にⓧが表示されることがあります。
- 2 層ディスクの場合、レイヤーの変わり目で一瞬画像が静止することがありますが、故障ではありません。
- ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。詳しくは、それぞれのディスクの説明書をご覧ください。

再生できるSDカード

本機はUSBカードリーダーを使ってSDカードを使うことができます。再生できるのはSD規格に準拠した以下のSDカードです。

再生できるカードの種類	
SDHC メモリーカード (4GB～32GB)	● FAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカード
miniSDHC メモリーカード (4GB～8GB)	
microSDHC メモリーカード (4GB～16GB)	
SDメモリーカード (8MB～2GB)	● FAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード
miniSDカード (16MB～2GB)	
microSDカード (256MB～2GB)	

- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。すべてのSDHCカードを保証するものではありません。
- SDカードをパソコンでフォーマットする際に、本機で対応していない形式の場合は、SDカードが使用できないことがあります。

本機で再生できる記録方式について

■ BD-RE/-Rディスク

- 本機では、**BDMV**(Blu-ray Disc Movie) **モード**または**BD-RE**(Blu-ray Disc Audio/Visual) **モード**で記録されたBD-RE/-Rを再生することができます。また、ファイナライズ(クローズ)を行っていないBD-Rは再生できないことがあります。なお、ディスクの記録状態によってはディスクが読み取れなかったり、正常に再生できないことがあります。

■ DVD-RW/-Rディスク

- 本機では、**AVCRECモード**、**VR(ビデオレコーディング)モード**または**ビデオモード**で記録されたDVD-RW/-R、VRモードで記録されたCPRM Ver1.2 対応のDVD-RWを再生することができます。また、ファイナライズを行っていないディスクは再生できません。なお、ディスクの記録状態によってはディスクが読み取れなかったり、正常に再生できないことがあります。
- 本機ではDVDに記録されたAVCHDファイル(「～.m2ts」や「～.mts」、「～.m2t」など)を単体で再生することはできません。ファイルとフォルダの相対関係をAVCHDの仕様に合う構造にしてください。
- AVCHDをDVDやSDカードに記録する場合は、AVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。(詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。)

■ リージョンコードおよびカラー方式について

- 本機で再生できるBDビデオのリージョンコードはA(またはAを含むもの)です。
- 本機で再生できるDVDビデオのリージョンコードは2またはALLです。
- 本機と異なるリージョンコードのディスクやNTSC(日本のテレビ方式)以外の方式で録画されたディスクは再生できません。
- マルチボーダー(マルチセッション)で記録された場合、追加で記録した部分については、BD-RE/-Rでは再生ができません。DVD-RW/-Rでは、再生ができないことがあります。

■ USBメモリーについて

- 本機はFAT16/FAT32形式でフォーマットされたUSB機器に対応しています。
- USBメモリーでは、拡張子が“.jpg(.JPG)”以外のJPEGファイルは認識されません。
- フォルダ名やファイル名に下記の認識できない文字が使用されている場合、フォルダ名、ファイル名が正しく表示できないことがあります。
- 認識できない文字：(. " ' = + [] ; / \ : | ¥)
- USBメモリーのファイル再生中にメモリーを抜いたり、本機をスタンバイ状態にしないでください。ファイルが壊れたり、故障の原因になることがあります。
- USBメモリー内のファイルやフォルダを、パソコン上で消さないでください。USBメモリーをパソコンでフォーマット(初期化)すると、本機で使用できない場合があります。このようなときは、本機で再度フォーマットしてください。詳しくは、『初期化』(P. 33 ページ)をご覧ください。
- 本機では、USBメモリー内の999 フォルダ、9999 ファイルまで認識できますが、構成によっては、記述の数値まで表示しない場合があります。
- USBメモリー内では9 階層までのフォルダを認識することができます。(それ以下の階層は認識できません。)
- USB機器によっては、本機で認識できないことがあります。以下の点にご注意ください。
- USB機器を分解しない
- USB機器の端子部はさわらない
- USB機器を使用しないときは、ケースに入れて保管してください。

再生できないメディアとファイル

以下のディスクおよびファイルは本機で再生できません。

- CD-ROM
- DVD-RAM
- DVD-Audio
- HD DVD
- CD-I
- VSD
- Video CD
- SVCD
- デュアルディスク
- ファイナライズを行っていないディスク
- BD-RE (Ver. 1.0)
- DivX®/Windows Media™Audio/MP3 ファイルを記録したBD/DVD/CD/USBメモリー
- BD/DVDハイブリッドディスク(BD層のみ再生可)
- AVCHDファイルを記録したBD-RE/-R
- スーパーオーディオCD(ハイブリッドディスクで、CD層に記録された音声のみ再生可能)
- BDXL™

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
- 本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。
- 本機は、著作権保護技術であるHDCPを採用しています。接続できる機器は、HDCP機能に対応したものに限りです。
- HDCP機能に対応していない機器との接続は保証していません。接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- Cinavia™
Cinaviaの通告
この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。
この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。
Copyright 2004-2014 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

再生の前に

本機の操作、設定のしかた

本機は基本的にリモコンで、操作、設定を行ないます。本書での操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。

ディスクの入れかた

1 トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを開く

2 ディスクのラベル面を上にして、ディスクトレイに置く



- 『再生できるメディアとファイル』（P. 12ページ）で、本機で再生できるディスクをお確かめください。

3 トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを閉じる

ディスクの読み込みが始まります。
(読み込みに時間がかかることがあります。)

ディスクを取り出すには：

トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを開き、ディスクを取り出してください。

ディスクを取り出したあとは トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを閉じてください。

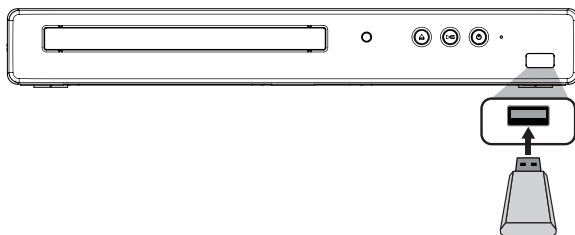
USBメモリーの接続のしかた

本機では、USBメモリーに記録されたJPEGファイルの再生や、USBメモリーを利用して以下の機能を楽しむことができます。

また、USBカードリーダー（市販品）を接続すると、SDカード（市販品）がお使いいただけます。

- USBカードリーダー（市販品）を接続すると、SDカードに保存されたAVCHDを再生することができます。

1 USBメモリーを水平に持ち、本体前面のUSBポートにしっかりと奥まで挿入する



USBメモリーを取り出すには：

本機の電源を切ってから、ゆっくりと引き抜いてください。

お知らせ

- 画面が表示されるまで少し時間がかかることがあります。USBメモリーを認識中・読み込み中は、以下の操作をしないでください。
 - 本機の電源を切る
 - USBメモリーを取りはずす
- USBメモリーを接続するときは、延長ケーブルを使わないでください。
- USBカードリーダーによっては、SDカードを認識できないことがあります。その場合、別のUSBカードリーダーをお使いください。
- 対応するUSBメモリーについては、(P. 13ページ)をご覧ください。

再生中の情報を表示する

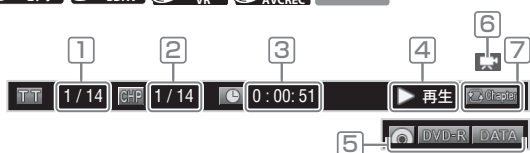
再生中のメディアに関する情報(現在再生中のチャプターや再生経過時間など)をテレビ画面に表示させて、確認することができます。

1 再生中に **画面表示** を押す

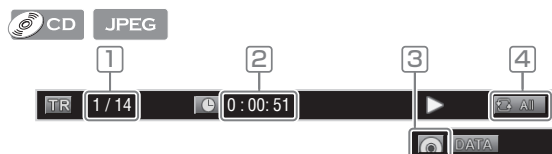
- 現在の再生状態が表示されます。
- 画面表示の詳細については、『画面表示について』(P. 以下)をご覧ください。

2 通常画面に戻すには、もう一度 **画面表示** を押す

画面表示について



1	タイトル情報	現在再生中のタイトル番号/ディスクに含まれる合計タイトル数
2	チャプター情報	現在再生中のチャプター番号/タイトルに含まれる合計チャプター数
3	経過時間情報	現在再生中のタイトルの再生経過時間
4	現在の再生状態	
5	ディスク情報	現在再生中のメディア情報
6	アングルアイコン	(マルチアングル対応時に表示)
7	現在のリピート設定	Chapter : チャプターリピート Title : タイトルリピート All : オールリピート



1	現在再生中のトラック(ファイル)番号/合計トラック(ファイル)数	
2	現在再生中のトラックの再生経過時間(JPEGファイルを除く)	
3	メディア情報	現在再生中のメディア情報 : ディスクで再生中 : USBメモリで再生中(JPEGファイルのみ)
4	現在のリピート設定	Track : トラックリピート Group : グループリピート All : オールリピート Random : ランダムリピート

お知らせ

- JPEG ファイルを再生中は、**画面表示** を2回押すとファイル名が表示されます。
- 音楽用CDを挿入した場合は、自動的に画面に情報が表示されます。また、画面表示を消すことはできません。

ディスクおよびUSBメモリーの構成について

■ BDビデオ、BD-DAV、DVDビデオ、DVD-VR、AVC/REC、AVCHD

市販のBDビデオ、BD-DAV、DVDビデオ、DVD-VR、AVC/REC、AVCHD、またはレコーダーなどで録画した番組は、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられています。それぞれの区切りに番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。



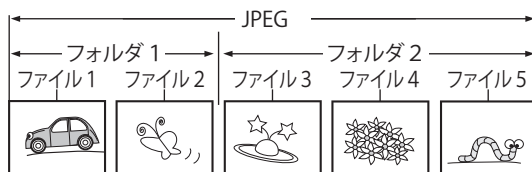
■ 音楽用CD

音楽用CDは、楽曲ごとなどのいくつかの区切り(トラック)に分けられています。それぞれの区切りに番号が割り当てられ、これらの番号をトラック番号と呼びます。



■ JPEG形式で保存されたファイル

BD-RE/-R、DVD-RW/-R、CD-RW/-RやUSBメモリーに記録されたJPEG ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。



レジューム機能について

再生停止を押して再生を停止すると、レジューム情報(再生停止位置)が記録されます。レジューム情報が記録されているときに **再生** を押すと、再生を停止した場所から再生が始まります。

- **決定** を押すと、初めから再生します。
- 本機の電源を切っても、再生停止位置は記憶されていますが、以下の条件によりレジューム情報は消去されます。
 - レジューム情報が記録されているときに、再度 **再生停止** を押す
 - 視聴制限レベルが変更されたとき
 - ディスクトレイを開けたとき
 - USBメモリーを本機から抜いたとき(JPEGのみ)
 - 本機をスタンバイ状態にしたとき(USBのみ)
- BDディスクによっては、レジューム機能を利用できない場合があります。

BD、DVD、AVCHDを再生する



1 ディスクを入れる

- ディスクの入れかたは、『ディスクの入れかた』(P. 14ページ)を参照してください。

2 自動的に再生を開始します。

- 自動的に再生を開始しない場合は、を押してください。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。ディスクのメニュー画面については、『ディスクに記録されているメニューを使う』(P. 16ページ)を参照してください。

再生を一時停止するには : を押す

通常の再生に戻すには : を押す

再生を停止するには : を押す

※スタートメニュー画面に戻り、再生を停止した場所のレジューム情報が記憶されます。(P. 15ページ)

種類の異なるファイルが入っている ディスクを再生する



1 ディスクを入れる

- ディスクの入れかたは、『ディスクの入れかた』(P. 14ページ)を参照してください。

2 ◀/▶で[写真]、[ビデオカメラ映像] または[録画したTV番組]を選び を押す

[AVCHD、AVCREC、JPEGが入ったディスク]
を再生した場合：



- [写真]を選んだときは、サムネイル画面が表示されます。詳しくは『JPEGファイルやピクチャーCDを再生する』(P. 18ページ)をご覧ください。
- [ビデオカメラ映像]を選んだときは、自動的に再生が始まります。詳しくは『BD、DVD、AVCHDを再生する』(P. 16ページ)をご覧ください。
- [録画したTV番組]を選んだときは、タイトルリスト画面が表示されます。詳しくは『BD(BDAV)、DVD(AVCREC/VR)のディスクの再生をする』(P. 17ページ)をご覧ください。

ディスクに記録されているメニューを使う



複数のタイトルが入っているBDビデオ、DVDビデオ、AVCHDでは、ディスクメニューからお好みのタイトルを選択し再生することができます。また、BDビデオにはポップアップメニュー、DVDビデオにはディスクメニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあり、ディスクのいろいろな操作がメニュー上で行なえます。

※メニューやポップアップメニューがある場合のみ表示されます。
ディスクメニュー

1 再生中に を押す

- メニュー選択画面が表示されます。

- ディスクによっては を押してもメニューが表示されないことがあります。

BDビデオの場合	ポップアップメニュー トップメニュー
DVDビデオ AVCHD の場合	トップメニュー メニュー

2 ▲/▼で表示したいメニューを選び、

を押す

3 ▲/▼/◀/▶でお好みのタイトルや項目を 選び、を押す

お知らせ

- メニューの内容や操作方法是ディスクにより異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

BD(BDAV)、DVD(AVCREC/VR)のディスクの再生をする



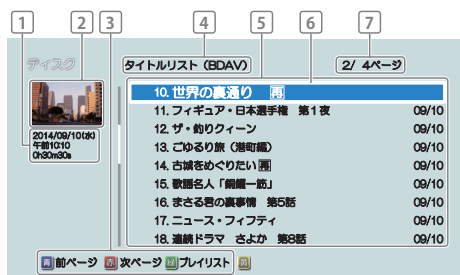
BDAVで記録されたBD-RE/-RディスクやAVCREC、VRで記録されたDVD-RW/-Rディスクにプレイリストを設定しているときは、**[オリジナル]**または**[プレイリスト]**を選んで再生することができます。

1 ディスクを入れる

- ディスクの入れかたは、『ディスクの入れかた』(P.14ページ)を参照してください。
- **[オリジナル]**のリストが表示されます。

2 緑でタイトルリストの**[オリジナル]**と**[プレイリスト]**を切り換える

[オリジナル]を選択した場合：



① 選択中のタイトルの録画情報
(録画開始日時/記録時間)

② 選択中のタイトルのサムネイル画像
選択中のタイトルを小画面で最初から再生します。

③ 操作ガイド
 青：リスト前ページへ移動
 赤：リスト次ページへ移動
 緑：オリジナル/プレイリスト切り換え

④ ディスク名

⑤ **[オリジナル]**または**[プレイリスト]**のタイトル一覧

⑥ 選択中のタイトル

⑦ 現在のページ数/合計ページ数

3 ▲/▼でお好みのタイトルを選び、

▶ または 決定 を押す

- 再生が始まります。

再生を一時停止するには：⏸ を押す

通常の再生に戻すには：▶ を押す

再生を停止するには：⏹ を押す

※タイトルリスト画面に戻り、再生を停止した場所のレジューム情報が記憶されます。(P.15ページ)

お知らせ

- BDAVやAVCREC、VRは、各フォーマットに対応しているディスクを使ってプログラム編集などを行なう、BD/DVDレコーダーならではの機能を楽しむ記録フォーマットです。
- BD/DVDレコーダーで録画したディスクの場合、録画して作られたタイトル(番組)をオリジナルと呼びます。
- オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。プレイリストが作成されていないディスクでは、オリジナルのみを表示します。
- ファイナライズされていないBD-RE/-Rや、DVD-RW/-Rは再生できません。
- ディスク名、タイトル名では、認識されない記号などの文字は* (アスタリスク)で表示されます。また、記録方式によっては、認識できる文字であっても* (アスタリスク)で表示される場合があります。
- BDAVとAVCRECは複数のレジュームポイントを記憶できます。ただし、**[オリジナル]**または**[プレイリスト]**を切り換えると、レジューム情報は解除されます。

JPEGファイルやピクチャーCDを再生する

JPEG

JPEGファイルやピクチャーCDの静止画像を本機で再生し、テレビの画面で楽しむことができます。ピクチャーCDは、デジタルカメラで撮った写真、フィルムやプリントの写真をデジタルデータに変換してCD-ROMに書き込むサービスです。

1 JPEGファイルを書き込んだディスク、ピクチャーCDまたはUSBを入れる

- JPEGファイルのみ書き込まれたディスクやピクチャーCDの場合、手順3へ進んでください。
- 種類の異なるファイルの書き込まれたディスクの場合、コンテンツ選択画面が表示されます。(P.16ページ)
- USBメモリーでの再生方法は『USBメモリーを再生する』(P.19ページ)をご覧ください。

2 ▲/▼/◀/▶で見た画像を選び、または を押す

ピクチャーCDが入っている場合：



① 選択中のファイル番号/ファイル総数

② サムネイル

③ 現在の再生状態

④ 操作ガイド

：リスト前ページへ移動

：リスト次ページへ移動

- 選択された画像から再生が始まります。画像は10秒間表示され、次の画像に移ります。
- ファイルがフォルダの中にある場合は、再生したいファイルを選ぶまで手順3を繰り返してください。
- 再生中は、◀/▶を押すごとに反時計回り/時計回りに90度ずつ画像が回転します。

再生を一時停止するには：を押す

再生を停止するには：を押す

通常の再生に戻すには：を押す

再生中に一覧を表示するには：を押す

停止中に最後に再生した画像に戻るには：を押す

前の階層に移動するには：を押す
(JPEGのみ)

※サムネイル画面に戻り、再生を停止した場所のレジューム情報が記憶されます。(P.下記)

レジューム機能について

を押して再生を停止すると、レジューム情報(再生停止位置)が記録されます。

レジューム情報が記録されているときに  または  押すと、再生を停止した場所から再生が始まります。

- 本機の電源を切っても、再生停止位置は記憶されていますが、以下の条件によりレジューム情報は消去されます。
 - レジューム情報が記録されているときに、再度  を押す
 - ディスクトレイを開けたとき
 - USBメモリーを本機から抜いたとき(JPEGのみ)
 - 本機をスタンバイ状態にしたとき(USBのみ)

お知らせ

- BD-RE/-R、DVD-RW/-R、CD-RW/-Rではディスク名/フォルダ名/ファイル名がひらがな、カタカナ、漢字や英数字、記号で表示されます。認識できない文字は、*(アスタリスク)で表示されます。
- ファイルのサイズが大きい場合、スライドショーで見ると、画像の表示時間が長くなる場合があります。
- 記録したときの条件や記録状態によっては、一覧に表示されているフォルダやファイルでも再生できないことがあります。
- 高解像度で記録された場合など、JPEGファイルの容量が大きいと、表示するまでに時間がかかることがあります。
- プログレッシブ形式で記録されたJPEG形式の画像は再生できません。
- 本機では、BD-RE/-R、DVD-RW/-Rは999フォルダ、9999ファイルまで、CD-RW/-Rでは255フォルダ、999ファイルまで認識できますが、構成によっては、記述の数値まで表示しない場合があります。
- 本機は、BD-RE/-R、DVD-RW/-R、CD-RW/-Rの9階層までのフォルダを認識することができます。(それ以下の階層のフォルダは認識できません。)
- BD-RE/-R、DVD-RW/-R、CD-RW/-Rでは、".jpg(.JPG)"または".jpeg(.JPEG)"の拡張子以外のJPEGファイルは認識されません。
- マルチボーダーで記録したBD-RE/-Rの場合、追加して記録した部分の再生ができません。
- マルチボーダーで記録したDVD-RW/-Rの場合、追加して記録した部分の再生ができません。
- ピクチャーCDは、7.0以前のバージョンに対応しています。ピクチャーCDに関する詳細は、ピクチャーCDのサービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。

音楽用CDを再生する



1 音楽用CDを入れる

2 ▲/▼でトラックを選び、▶ または 決定 を押す



- | | |
|-------------------------------|--|
| ① 現在再生中のトラック番号/トラック総数 | |
| ② 現在再生中のトラックの経過時間 | |
| ③ トラック番号・時間のリスト表示 | |
| ④ 現在の再生状態 | |
| ⑤ 現在のリピート設定
(リピート設定中にのみ表示) | Track : トラックリピート
All : オールリピート
Random : ランダムリピート |
| ⑥ 操作ガイド | 青 : リスト前ページへ移動
赤 : リスト次ページへ移動 |

再生を一時停止するには : を押す

通常の再生に戻すには : を押す

再生を停止するには : を押す

※ファイルリスト画面に戻り、再生を停止した場所のレジューム情報が記憶されます。
(14 ページ 下記)

レジューム機能について

を押して再生を停止すると、レジューム情報(再生停止位置)が記録されます。

レジューム情報が記録されているときに を押すと、再生を停止した場所から再生が始まります。

- を押すと、選択中のトラックの初めから再生します。
- 本機の電源を切っても、再生停止位置は記憶されていますが、以下の条件によりレジューム情報は消去されます。
 - レジューム情報が記録されているときに、再度 を押す
 - レジューム情報が記録されているときに、他のトラックを選んで または を押す
 - ディスクトレイを開けたとき

USBメモリーを再生する

本機ではUSBメモリーに記録されたJPEG ファイルを再生することができます。
USBカードリーダーを接続すると、SDカードに保存されたAVCHDやJPEG ファイルも再生することができます。

1 USBメモリーを接続する

- 接続のしかたは、『USBメモリーの接続のしかた』(14 ページ)を参照してください。

2 スタートメニューを押す

3 ◀/▶で[USB]を選び、決定を押す

- 種類の異なるファイルが入っているSDカードの場合は、コンテンツ選択画面が表示されます。
[写真]または[ビデオカメラ映像]を選んで を押してください。
 - [写真]を選んだ場合、手順4に進んでください。
 - [ビデオカメラ映像]を選択すると、再生が始まります。

4 ▲/▼/◀/▶で見たい画像を選び、▶ または 決定 を押す

いろいろな再生

早送り/早戻し



1 再生中に **▶▶** または **◀◀** を押す

- 押すたびに早送り/早戻しの速度を切り換えます。

2 **▶** を押し、通常の再生に戻す

スロー再生



1 一時停止中に **▶▶** を押す

- 繰り返し押すたびにスロー再生の速度を3段階まで切り換えます。

2 **▶** を押し、通常の再生に戻す

コマ送り再生



1 一時停止中に **▶▶** を繰り返し押す

- 押すたびに、1コマずつ再生します。

2 **▶** または **⏮** を押し、通常の再生に戻す

お知らせ

- 早戻し、早送りの速度は、BD、BD-DAV、DVD、DVD-VR、AVC-REC、AVCHDでは5段階、音楽用CDでは3段階まで切り換えます。
- BD、BD-DAV、DVD、DVD-VR、AVC-REC、AVCHDの早戻し、早送り中やスロー再生中は音声は出力されません。
- 音楽用CDでは、トラックをまたぐ早戻し、早送りはできません。
- JPEG形式のファイル(スライドショー)の早送り/早戻しはできません。
- 逆スロー再生はできません。
- 音楽用CDやJPEG形式のファイル(スライドショー)のスロー再生はできません。
- 一時停止中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。(P.26ページ)
- コマ戻し再生はできません。
- ディスクによっては、タイトルや、トラック、ファイルをまたぐ頭出しが禁止されている場合があります。
- チャプターがないタイトルの場合、**◀◀** または **▶▶** を押すことで前後のタイトルに切り換わります。

サーチ機能を使う

頭出しをする

再生中に **◀◀** または **▶▶** を押す

- 押した回数だけチャプターまたはトラック、ファイルを飛び越します。
- **◀◀** を1回押すと再生中のチャプターまたはトラック、ファイルの先頭に戻ります。(JPEGでは1つ前のファイルに戻ります。)

サーチモード

1 再生中に **●** を押す

- サーチ画面が表示されます。

2 **●** を繰り返し押して、お好みのサーチモードを選び、**決定** を押す

- 数字入力サーチを選ぶ場合、**決定** を押す必要はありません。

ディスクやファイルによってサーチモードの機能が異なります。設定可能なサーチモードは下記の一覧をご覧ください。

チャプターサーチ	: 指定したチャプターを頭出しします。
タイトルサーチ	: 指定したタイトルを頭出しします。
トラックサーチ	: 指定したトラックやファイルを頭出しします。
トラックサーチ	: 指定した時間で頭出しします。
数字入力サーチ	: ディスクのメニュー画面などで、メニュー項目を選ぶ場合に、項目の番号を入力します。 また、BDで数字を入力する必要がある場合に、数字を入力することができます。

- それぞれ以下の順番でサーチモードが切り換わります。
- スライドショー中は、手順**3**へ進んでください。

メディア	サーチモード
BD BD-DAV DVD DVD-VR DVD-AVCREC AVCHD	CHP チャプターサーチ TT タイトルサーチ タイムサーチ 数字入力サーチ ※ ※数字入力サーチは、BD-DAV、DVD-VR、AVC-RECでは対応していません。BDビデオ、DVDビデオ、AVCHDのみの機能です。
CD	TR トラックサーチ タイムサーチ
JPEG	TR トラックサーチ

3 ▲/▼/◀/▶で頭出ししたいチャプターやタイトル、トラック、ファイル番号または時間を入力し **決定** を押す

- 希望した箇所の頭出しを行なったあと、再生を始めます。
- ▲/▼で数字の選択が、◀/▶でカーソルの移動ができます。
- サーチをやめる場合は、**戻る**を押してください。通常画面に戻ります。
- 数字入力サーチの入力画面は以下の桁数で表示されます。
 - BDビデオ (Java以外)とAVCHD : 4桁
 - BDビデオ (Java) : 1桁
 - DVDビデオ : 2桁
- 数字入力サーチは、BDビデオ、DVDビデオ、AVCHDのディスクによっては利用できない場合があります。

音声を切り換える

音声に複数の言語・音声フォーマットが記録されているタイトルやトラックの再生中に、音声を切り換えることができます。また、ピクチャー・イン・ピクチャーのBDビデオでは、プライマリ音声のほか、インタラクティブオーディオやコメンタリ音声などの、セカンダリ音声を設定することができます。



1 再生中に **音声切換** を押す

- 現在再生中の音声情報が表示されます。

2 ▲/▼で[プライマリ]または[セカンダリ]を選び、**決定**を押す

音声	プライマリ	1 日本語	Dolby D	Multi-ch	/3
	セカンダリ	2 英語	Dolby D+	Multi-ch	/3
[デコードフォーマット]: Dolby D					

プライマリ : プライマリ映像の音声を設定します。

セカンダリ : セカンダリ映像の音声を設定します。

3 ▲/▼でお好みの音声を選ぶ

- [プライマリ]音声は、**音声切換**を押して切り換えることもできます。
- [セカンダリ]では、◀/▶で現在の音声設定と[切]を切り換えます。

4 **戻る**を押し、設定を完了する



1 再生中に **音声切換** を押す

- 現在再生中の音声情報が表示されます。

2 ▲/▼でお好みの音声をを選び、**決定**を押す

DVDビデオの場合 :

音声	1 日本語	Dolby D	Multi-ch	/3
[デコードフォーマット]: Dolby D				

- **音声切換**を押して切り換えることもできます。
- 音楽用CDでは、以下の音声モードからお好みの音声モードを選択します。

ステレオ : 左右のチャンネル両方の音声を出力します。

L-ch : 左チャンネルの音声のみ出力します。

R-ch : 右チャンネルの音声のみ出力します。

3 **戻る**を押し、設定を完了する

お知らせ

- 再生メニューから音声を切り換えることもできます。再生メニューを表示するには、**再生**を押してください。
- 音声が含まれていない場合は、[なし]が表示されます。複数の音声記録されていないディスクの再生時は、音声を切り換えることはできません。
- DTS-CD(5.1 音楽ディスク)は、音声を切り換えることはできません。
- ニカ国語(二重音声)で記録されたBDAV、DVD-VRまたはAVCRECでは、[主音声]、[副音声]または[主/副音声]に切り換えることができます。
- ディスクによっては、音声に複数の言語が入っていても**音声切換**が動かず、ディスクメニュー上でのみ選択できる場合があります。操作方法については、ディスクの説明書をご覧ください。
- セカンダリ映像が切になっている場合、セカンダリ音声は出力されません。(BDによっては、セカンダリ映像が切になっていてもセカンダリ音声のみ出力される場合があります。)
- セカンダリ音声を楽しむためには、必ず**[BD-HD音声設定]**を**[複合音声]**に設定してください。(P. 27ページ)
- ディスクトレイを開けたり、再生中に電源プラグを抜くと音声の設定が解除され、初期設定に戻ります。

字幕を切り換える

字幕に複数の言語が記録されているタイトルの再生中に、字幕を切り換えることができます。BDビデオではプライマリ字幕やセカンダリ字幕、また、表示される字幕のスタイルも切り換えることができます。



1 再生中に **字幕切換** を押す

- 現在選択中の字幕言語が表示されます。

2 ▲/▼で[プライマリ]、[セカンダリ]または[スタイル]を選び、**決定**を押す

字幕	プライマリ	1	日本語	/11
	セカンダリ	2	英語	/11
	スタイル	2/25		

プライマリ : プライマリ映像の字幕を設定します。

セカンダリ : セカンダリ映像の字幕を設定します。

スタイル : 字幕スタイルを選びます。

3 ▲/▼でお好みの字幕言語または字幕スタイルを選ぶ

- ◀/▶で、現在の字幕設定と[切]を切り換えます。
- プライマリ映像の字幕は、**字幕切換**を押して切り換えることもできます。

4 戻るを押し、設定を完了する



1 再生中に **字幕切換** を押す

- 現在選択中の字幕言語が表示されます。

2 ▲/▼でお好みの字幕を選ぶ

- **字幕切換**を押して切り換えることもできます。
- ◀/▶で、現在の字幕設定と[切]を切り換えます。

字幕	1	日本語	/4
----	---	-----	----

3 戻るを押し、設定を完了する

お知らせ

- 再生メニューから字幕を切り換えることもできます。再生メニューを表示するには**再生**を押してください。
- 字幕に複数の言語が入っていても**字幕切換**が働かず、ディスクメニュー上でのみ選択できるディスクもあります。操作方法については、ディスクの説明書をご覧ください。
- 字幕や字幕スタイルが含まれていない場合は、[なし]が表示されます。
- セカンダリ映像の再生中、セカンダリ映像の字幕がある場合、[プライマリ]の設定はできません。

リピート再生

再生するメディアによってリピート再生の機能が異なります。設定可能なリピートモードは下記の一覧をご覧ください。

チャプターリピート : 現在のチャプターを繰り返し再生します。

タイトルリピート : 現在のタイトルを繰り返し再生します。

トラックリピート : 現在のトラックまたはファイルを繰り返し再生します。

グループリピート : 現在のフォルダを繰り返し再生します。

オールリピート : メディアに含まれるすべてのタイトル、トラックまたはファイルを繰り返し再生します。

ランダムリピート : メディアに含まれるすべてのトラックまたはファイルをランダムに再生します。

メディア	リピートモード
 	チャプターリピート タイトルリピート 切
 	チャプターリピート タイトルリピート オールリピート 切
	トラックリピート オールリピート ランダムリピート 切
	トラックリピート グループリピート ランダムリピート 切

映像を補正する

ノイズを軽減する



再生画像のノイズを軽減します。

1 再生中に、再生メニューを押す

- 再生メニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で[ノイズリダクション]を選び、決定を押す

3 ▲/▼で設定を切り換え、決定を押す

ノイズリダクション 入

- 切 : オリジナル画像のまま表示します。
入 : ノイズリダクションを実行し、再生画像のノイズを軽減します。

超解像設定を設定する



映像の画質を精細感の高いはっきりとした画質に補正します。特にDVDの再生に効果があります。

1 再生中に再生メニューを押す

- 再生メニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で[超解像設定]を選び、決定を押す

3 ▲/▼で設定を切り換え、決定を押す

超解像設定 切

- 切 : オリジナル画像のまま表示します。
入 : 解像度の高い画質に補正します。

お知らせ

- [ノイズリダクション]の設定は、本機の電源を[切]にしても、記憶されていますが、電源コードを抜くと、設定値を記憶しない場合があります。
- 以下の場合、[ノイズリダクション]、[超解像設定]の設定をすることはできません。
 - 早送り/早戻し中
 - コマ送り中
 - 一時停止中
- 接続しているテレビによっては、映像が白っぽく見えることがあります。その場合は、[超解像設定]を[切]に設定してください。
- 1080p24などのハイビジョン画質の再生画像や、本機に接続している機器のHDMI出力解像度によっては、効果がないことがあります。

1 再生中にリピートを押す

- 現在の設定状態が表示されます。

2 [▲/▼]でお好みのリピート再生を選び、決定を押す

- リピートを押して切り換えることもできます。

お知らせ

- 再生メニューからリピート再生をすることもできます。再生メニューを表示するには再生メニューを押してください。
- 再生を停止すると、リピート再生は解除されます。
- オールリピートを除くすべてのリピートモードでは、リピート再生中にほかのタイトルやチャプター、トラック、フォルダ、ファイルを選択するとリピート再生は解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生ができないものがあります。
- 場面によっては、チャプターまたはタイトルリピートができないものがあります。

アングルを切り換える



複数のカメラアングルによる映像が記録されているBD、またはDVDの再生中に、アングルを切り換えることができます。カメラアングル映像が記録されたシーンでは が画面に表示されます。

1 再生中に を押す

- 再生メニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で[アングル]を選び、 を押す

- 現在再生中のアングル番号が表示されます。

3 ▲/▼でアングルを切り換え、 を押す

アングル 5 / 6

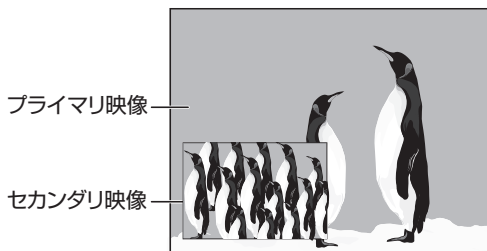
お知らせ

- [アングル表示] を [切] に設定している場合、 は表示されません。詳しくは、『再生設定』（P. 31 ページ）をご覧ください。

PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー) (BONUSVIEW)の設定



PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)機能を持つBDビデオの再生時、セカンダリ映像を含むシーンで、セカンダリ映像を画面内に別画面で表示することができます。



1 再生中に、 を押す

- 再生メニュー画面が表示されます。

2 [▲/▼]で[PiP]を選び、 を押す

3 [▲/▼]でセカンダリ映像を切り換えて、 を押す

- セカンダリ映像を非表示にするには、[切]を選んでください。

PiP 5 / 6

4 を押し、設定を完了する

お知らせ

- セカンダリ映像の音声は、 で変更することができます。
- セカンダリ映像の音声は、 の [セカンダリ] が [切] に設定時、または [BD+HD 音声設定] が [HD 音声] に設定時には出力されません。詳しくは、『音声を切り換える』（P. 21 ページ）と『音声設定』（P. 27 ページ）をご覧ください。
- セカンダリ映像は、場面によって表示されないことがあります。

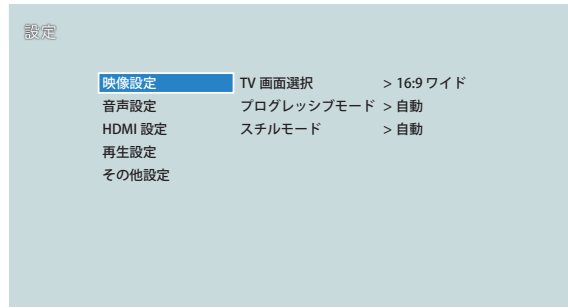
設定

音声、映像、言語、その他の各種設定ができます。

1 再生の停止中に、**スタートメニュー**を押す

2 ◀/▶で「設定」を選び、**決定**を押す

3 ▲/▼で設定したい項目を選び、**決定**を押す



4 手順3を繰り返し、お好みの項目を設定する

5 **決定**を押し、設定を完了する

6 **スタートメニュー**または **戻る**を押し、スタートメニュー画面に戻る

お知らせ

- 再生中には設定変更はできません。また、本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。

映像設定 (F26 ページ)

映像設定	TV 画面選択	> 16:9 ワイド
音声設定	プログレッシブモード	> 自動
HDMI 設定	スチルモード	> 自動
再生設定		
その他設定		

音声設定 (F27 ページ)

映像設定	Dolby D レンジ	> 自動
音声設定	BD-HD 音声設定	> 複合音声
HDMI 設定		
再生設定		
その他設定		

HDMI設定 (F28 ページ)

映像設定	HDMI 機器制御	> 切
音声設定	解像度設定	> 自動
HDMI 設定	ディープカラー	> 自動
再生設定	音声出力設定	> ビットストリーム
その他設定		

再生設定 (F31 ページ)

映像設定	音声言語	> オリジナル
音声設定	字幕言語	> 切
HDMI 設定	メニュー言語	> 日本語
再生設定	BD 視聴制限レベル	> 無制限
その他設定	DVD 視聴制限レベル	> 無制限
	パスワード変更	>
	アングル表示	> 入

その他設定 (F33 ページ)

映像設定	ソフトウェア更新	>
音声設定	バージョン情報	>
HDMI 設定	初期化	>
再生設定	ライセンス情報	>
その他設定		

ご使用になる前に

接続する

再生する

設定

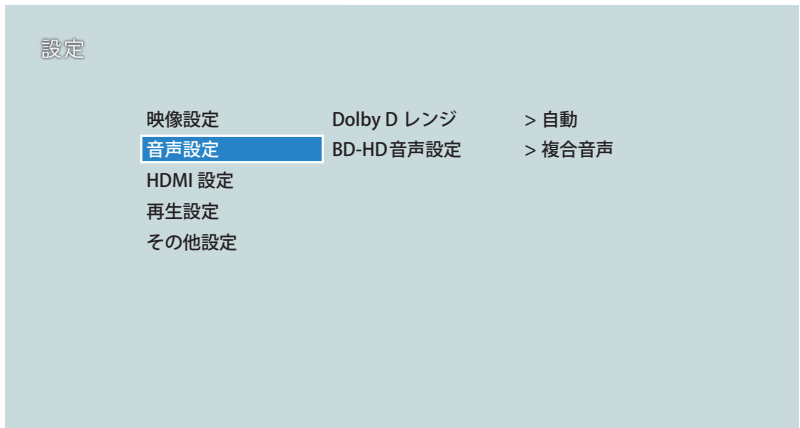
その他

設定

映像設定	TV 画面選択	> 16:9 ワイド
音声設定	プログレッシブモード	> 自動
HDMI 設定	スチルモード	> 自動
再生設定		
その他設定		

設定項目	初期設定	その他の設定値
TV画面選択 接続したテレビの画面サイズに応じて、視聴する映像サイズを設定します。	16:9 ワイド 16:9ワイドテレビで見るときに選びます。16:9ワイド映像を画面いっぱいに映します。	4:3 レターボックス 4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。
		4:3 パンスキャン 4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のないDVDビデオソフトはレターボックスで表示されます。
		16:9 シュリンク 4:3映像を再生する場合、16:9 ワイドテレビでも、4:3の比率で映像を映します。
プログレッシブモード HDMI映像を最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。	自動 映像の種類がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、プログレッシブ出力に変換します。	ビデオ ビデオ素材の映像をプログレッシブ出力に変換します。
スチルモード※ 一時停止時の画質を設定します。	自動 表示する静止画の情報に応じて、 【フィールド】 または 【フレーム】 のどちらかで表示されます。	フィールド 【自動】 に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。 【フィールド】 を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなりますが、ブレを生じません。
		フレーム 動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。 【フレーム】 を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。

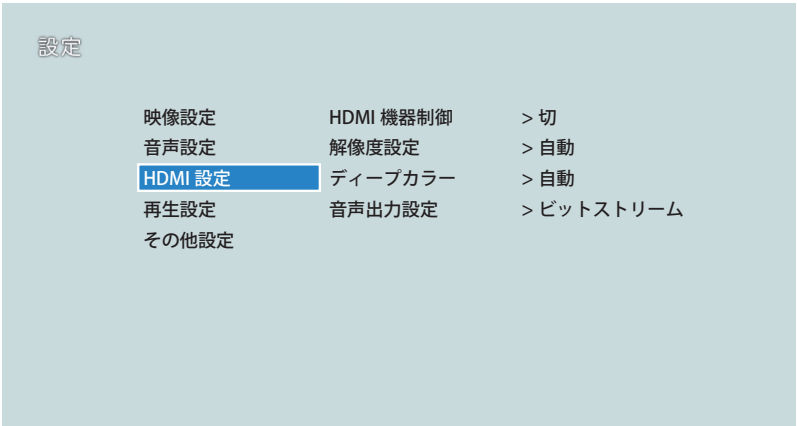
※テレビの1枚の画面のことを「フレーム」とよび、1枚の「フレーム」は「フィールド」とよばれる2枚の画面から作られています。**【スチルモード】**で**【自動】**を選択している場合、静止画によっては画像にブレを生じることがあります。



設定項目	初期設定	その他の設定値
Dolby D レンジ ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラスまたはドルビーTrueHDで記録された音声の場合にのみ有効です。 音量範囲を圧縮することで夜間の出力を抑制しながら音量が低い部分の音域レベルを上げることができます。	自動 ドルビーTrueHDの再生中に、本機がディスクのDolby D レンジ情報を認識し、自動でDolby D レンジ設定を [入] または [切] に設定します。ドルビーTrueHD以外を再生した場合では [切] と同じ動作をします。	入 記録された音声の強弱の幅を調整します。 切 記録されたオリジナル音源で出力します。
BD-HD 音声設定 ドルビーデジタルやDTS®などのマルチチャンネル音声記録された、インタラクティブオーディオやコメンタリ音声などのセカンダリ音声を含むBDでそれらすべての音声を聴く場合や、プライマリ音声のみをオリジナルの高音質のまま出力したい場合など、お好みに応じた音声設定に切り換えることができます。 (詳しくは、『HDMI出力端子からの音声出力』(P.30ページ)をご覧ください。)	複合音声 インタラクティブオーディオ(ボタン操作音等)やセカンダリ音声(セカンダリ映像の音声)を含むBDを楽しむ場合に設定します。	HD 音声 ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS®、DTS-HD®などの信号を高音質のままプライマリ音声のみ出力します。インタラクティブオーディオやセカンダリ音声は出力されません。

お知らせ

- セカンダリ音声を楽しむためには、必ず**[BD-HD 音声設定]**を**[複合音声]**に設定してください。
- **[複合音声]**に設定していても、再生するBDにインタラクティブオーディオやセカンダリ音声が含まれていない場合は、プライマリ音声のみが出力されます。



設定項目	初期設定	その他の設定値
HDMI機器制御 HDMI CEC対応のテレビと本機をHDMIケーブルで接続している場合、本機とテレビを連動して操作できます。 (詳しくは『HDMI CEC(HDMI機器制御)について』(P.29ページ)をご覧ください。)	切 HDMI機器制御を使用しません。	入 本機の動作とテレビの動作が連動します。
解像度設定 接続したHDMI機器に応じて、HDMI解像度を設定します。	自動 接続したHDMI機器によって、HDMI映像解像度を自動で設定します。	480p 480プログレッシブで出力します。
ディープカラー 再生映像の色深度(ディープカラー)を拡張し、より自然に近い色を再現したいときに設定します。	自動 テレビがディープカラーに対応している場合、ディープカラーで出力します。	切 HDMI端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。
音声出力設定 HDMI出力端子から出力される音声信号の音声フォーマットを設定します。 (詳しくは、『HDMI出力端子からの音声出力』(P.30ページ)をご覧ください。)	ビットストリーム DTS®やDTS-HD®,ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDのデコードに対応している機器に接続している場合、各音声ビットストリームで出力します。	LPCM DTS®やDTS-HD®,ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDをLPCMに変換して出力します。

HDMI CEC (HDMI機器制御)について

HDMI機器制御に対応しているテレビと本機を HDMIケーブルを使用して接続し、[HDMI機器制御]の設定を[入]に設定した場合、本機の動作とテレビの動作を連動して行なえる [HDMI機器制御]が使えます。HDMI機器制御では、以下の操作が可能になります。

ご使用になる前に

接続する

再生する

設定

その他

ワンタッチプレイ

本機のリモコンにある  を押すと、テレビの入力切替が自動的に切り換わり、再生が始まります。

(ディスク挿入時に限り、^{ディスク}  ※ または  を押すと、テレビの入力切替が自動的に切り換わります。)

※  は、BDビデオなど映像のディスクが入っているときのみ有効です。

自動的に電源を入れる、切る

^{電源} 、または  のいずれかを押すと、本機とテレビの電源が入ります。

^{電源}  (リモコン)、または  (本体) を 2 秒以上長押しすると、テレビと本機の電源が切れます。また、テレビの電源を切ると本機の電源も自動的に切れます。

テレビのリモコンで本機を操作する

- テレビのリモコンで本機を操作できます。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- この機能は、お使いのテレビによっては正しく動作しない場合があります。
- お使いのテレビのリモコンによって、操作できる内容が変わります。

お知らせ

- あらかじめテレビ側で HDMI CEC 機能 (HDMI 機器制御機能) の設定を行ってください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI CEC 機能があるすべての製品に対応しているわけではありません。お使いのテレビによっては正しく動作しない場合があります。

解像度設定について

- 本機を HDMI-DVI 機器と HDMI-DVI ケーブルで接続している場合、[解像度設定] を [自動] に設定していても [480p] で出力されます。
- 再生を行なっているときに、HDMI 解像度の設定を切り換えたり、入力を切り換えるなどの操作を行なうと、音声・映像が一時途切れることがあります。
- お持ちのテレビが 1080 プログレッシブ 24 フレームに対応している場合は、HDMI ケーブルを使用して接続し、[解像度設定] を [自動] に設定すると、1080 プログレッシブ 24 フレームとしてフィルム素材 (1 秒間に 24 フレームで撮影) を記録した高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。
- お持ちのテレビが 1080 プログレッシブ 24 フレームに対応していない [解像度設定] を [自動] に設定している場合でも、ディスクが 1080 プログレッシブ 24 フレーム対応でない場合や AVCHD では、24 フレームの映像は 60 フレームで出力されます。

HDMI出力端子からの音声出力

メディア	音声記録方式	音声出力設定			
		ビットストリーム		LPCM	
		[BD-HD音声設定] を [HD音声]に設定時	[BD-HD音声設定] を [複合音声]に設定時	[BD-HD音声設定] を [HD音声]に設定時	[BD-HD音声設定] を [複合音声]に設定時
BDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM	マルチLPCM
	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタル	マルチLPCM	マルチLPCM
	ドルビーTrueHD	ドルビーTrueHD	ドルビーデジタル	マルチLPCM	マルチLPCM
	DTS®	DTS®	DTS®	2ch LPCM	2ch LPCM
	DTS-HD®	DTS-HD®	DTS®	2ch LPCM	2ch LPCM
	LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM	マルチLPCM	マルチLPCM
BD-DAV	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM	マルチLPCM
	AAC	AAC	AAC	2ch LPCM	2ch LPCM
	LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM	マルチLPCM	マルチLPCM
DVDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル		マルチLPCM	
	DTS®	DTS®		2ch LPCM	
	LPCM	2ch LPCM		2ch LPCM	
DVD-VR	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル		マルチLPCM	
	LPCM	2ch LPCM		2ch LPCM	
AVCREC	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル		マルチLPCM	
	AAC ^{*1}	AAC		2ch LPCM	
	LPCM	2ch LPCM		マルチLPCM	
AVCHD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル		マルチLPCM	
	LPCM	マルチLPCM		マルチLPCM	
音楽用CD	LPCM	2ch LPCM		2ch LPCM	
DTS-CD	DTS®	DTS®		2ch LPCM	

*1: デジタル放送で使用する AAC 音声の再生は可能ですが、パソコンなどで記録された AAC 音声の再生できません。

- 接続している機器がHDMIビットストリーム、AACに対応していない場合【音声出力設定】を【ビットストリーム】に設定していても、機器の性能に応じてマルチLPCM、またはダウンミックス2ch LPCMで出力されます。
- 再生するBDビデオにセカンダリ音声やインタラクティブオーディオがない場合は、【BD-HD音声設定】を【複合音声】に設定していても、出力音声は【HD音声】と同様になります。

お知らせ

- HDMI端子からの音声信号(サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など)は、接続する機器により制限されることがあります。
- プロジェクターなどのHDMI対応モニターによっては、音声信号入力に対応していない場合があります。そのような機器と本機を接続した場合は、HDMI出力端子から音声信号は出力されません。
- 【解像度設定】の設定を切り換えたり、入力を切り換えるなどの操作を行なうと、音声・映像が一時途切れることがあります。

設定

映像設定	音声言語	> オリジナル
音声設定	字幕言語	> 切
HDMI 設定	メニュー言語	> 日本語
再生設定	BD 視聴制限レベル	> 無制限
その他設定	DVD 視聴制限レベル	> 無制限
	パスワード変更	>
	アングル表示	> 入

設定項目	初期設定	その他の設定値
音声言語 音声言語を設定します。	オリジナル	日本語 英語 その他の言語※
字幕言語 字幕言語を設定します。	切	日本語 英語 その他の言語※
メニュー言語 ディスクメニュー画面の言語を設定します。	日本語	英語 その他の言語※
BD視聴制限レベル BDビデオの再生制限を設定します。	無制限	視聴可能年齢設定
DVD視聴制限レベル DVDビデオの再生制限を設定します。	無制限	レベル8 レベル7 レベル6 レベル5 レベル4 レベル3 レベル2 レベル1
パスワード変更 視聴制限のパスワードを設定します。		
アングル表示 マルチアングル機能があるビデオコンテンツの再生中、カメラアングルを切り換えられる場面でアングルアイコン表示の設定をします。	入	切

※ [その他の言語] を選択すると、言語コード入力画面が表示されます。

『言語コード一覧』(P. 40 ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

- 字幕を表示させたくない場合は、[字幕言語] 設定で [切] を選んでください。
ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合もあります。

視聴制限レベルについて

パスワード設定することでお子様などに見せたくない成人向けのBDビデオ、DVDビデオの再生を制限(禁止)します。設定したレーティングを超えるディスクを再生した場合は再生を停止し、再生を行なうにはパスワードを入力し、設定の解除が必要となります。

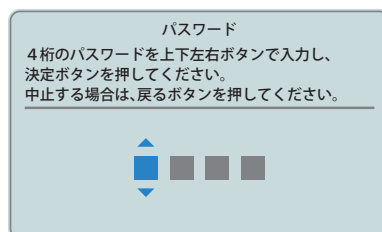
1 ▲/▼で[BD視聴制限レベル]、[DVD視聴制限レベル]または
[パスワード変更]を選び、**決定**を押す

2 ▲/▼/◀/▶で4桁のパスワードを入力し、**決定**を押す

初めて視聴制限を設定する場合：

“4737”以外の4桁の数字を入力し、**決定**を押してください。再度、確認のためにパスワード入力画面が再表示されますので、同じパスワードを再入力し**決定**を押してください。

初めてパスワードを設定する場合：



※この数字がパスワードとして設定されますので、忘れないように必ずメモを取っておいてください。)

- [0]～[9]までの数字が選択できます。◀/▶でカーソルを移動させてください。
- パスワードをお忘れの場合は、▲/▼/◀/▶で[4]、[7]、[3]、[7]を入力してください。パスワードがリセットされ、視聴制限レベルの設定は初期設定に戻ります。(「パスワード変更」では[4]、[7]、[3]、[7]を入力してもパスワードはリセットされません。)
- パスワードの入力を間違えた場合は、◀を押すと再入力できます。

[BD視聴制限レベル]の場合

1 ▲/▼で好みの設定を選び、**決定**を押す

無制限 :すべてのディスクの視聴ができます。

視聴可能年齢設定 :▲/▼/◀/▶で設定したい年齢を3桁で入力してください。
【例】17歳以下の視聴制限があるBDビデオを再生不可にする場合、
▲/▼/◀/▶で[0]、[1]、[7]を入力します。

2 **決定**を押し、設定を完了する

[DVD視聴制限レベル]の場合

1 ▲/▼で好みの設定を選び、**決定**を押す

無制限 :制限なく、すべてのディスクの視聴ができます。

レベル8 :年齢に関係なく視聴ができます。

レベル7 :18歳未満のお子様は視聴できません。

レベル6 :18歳未満のお子様は視聴するには保護者の指導が必要です。

レベル5 :保護者同伴での視聴を推奨します。

レベル4 :13歳未満のお子様の視聴には不適切なコンテンツが含まれています。

レベル3 :保護者の方の判断による視聴を提案します。

レベル2 :一般的に視聴できる内容です。

レベル1 :お子様が視聴されても問題のない内容です。

2 **決定**を押し、設定を完了する

[パスワード変更]の場合

1 ▲/▼/◀/▶で現在のパスワードを入力し、**決定**を押す

2 ▲/▼/◀/▶で新しいパスワードを入力し、**決定**を押す

3 確認のため、もう一度▲/▼/◀/▶で新しいパスワードを入力し、**決定**を押す

設定

映像設定	ソフトウェア更新	>
音声設定	バージョン情報	>
HDMI 設定	初期化	>
再生設定	ライセンス情報	>
その他設定		

設定項目	初期設定	その他の設定値
ソフトウェア更新 本機のソフトウェアを最新のバージョンに更新します。 最新のソフトウェアはインターネットでダウンロードできます。 (詳しくは『ソフトウェアの更新について』(P.34 ページ)をご覧ください。)	ディスク ディスクを使用し、本機のソフトウェアの更新をします。	USB USB メモリーを使用し、本機のソフトウェアの更新をします。
バージョン情報 本機の現在のソフトウェアバージョンを確認できます。		
初期化 本機の設定を初期設定に戻すときや、USB メモリーのフォーマット(初期化)などを行ないます。	設定初期化 [BD 視聴制限レベル]および[DVD 視聴制限レベル]の設定を除く、すべての本機設定を初期設定に戻します。	USB 初期化 本機に挿入している USB メモリーをフォーマットします。
		(本機) BD データ消去 BD ビデオの再生時に使用されるメモリーデータ(本機)を消去します。
		(USB) BD データ消去 BD ビデオの再生時に使用されるメモリーデータ(USB メモリー)を消去します。
ライセンス情報 本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。		

お知らせ

- 本機に BD ディスクが入っている場合、[USB 初期化]や[(USB) BD データ消去]や[(本機) BD データ消去]はできません。
- 以下の設定を初期化するには、パスワードを初期化してください。(P.32 ページ)
 - BD 視聴制限レベル
 - DVD 視聴制限レベル
- [USB 初期化]や[(USB) BD データ消去]の実行中は、USB メモリーを抜かないでください。
USB メモリーのデータが破損するおそれがあります。

ご使用になる前に

接続する

再生する

設定

その他

ソフトウェアの更新について

1 最新のソフトウェアをダウンロードする

- お手持ちのパソコンから、下記のURLを開き、ホームページの指示にしたがい、最新のソフトウェアを書き込んだディスクを作成するか、USBメモリーに保存してください。
<http://www.funai-service.co.jp/customersupport/product/search/>
- ソフトウェアの更新をするときは、何も記録されていないディスクやUSBメモリーをお使いください。

2 ⇒ [設定] ⇒ [その他設定] ⇒ [ソフトウェア更新] で [ディスク] を選択し、ディスクを入れる、または [USB] を選択し、USBメモリーを接続する

3 確認画面が表示されたら、◀/▶で[はい]を選び、を押す

- ソフトウェアの確認が終わったら、本機が再起動しソフトウェアの更新が始まります。(更新が完了するまで数分かかります。)
- ソフトウェアの更新が終わったら、もう一度本機が再起動し、スタートメニュー画面に戻ります。スタートメニュー画面に戻ったら、ディスクを取り出すか、またはUSBメモリーを取りはずしてください。

ソフトウェア更新に失敗した場合：

本機が通常の起動をしなくなった時は、以下の手順でソフトウェアを更新してください。

1 最新のソフトウェアをダウンロードする

2 ダウンロードしたソフトウェアのファイル名を変更してUSBメモリーに保存する

変更前: *****.bin ⇨ 変更後: UPDATE10000FA2.BIN

3 本体の を10秒間押し続け、電源を切る

- リモコンでは操作できません。

4 USBメモリーを接続する

5 本体の を押す

- ソフトウェアの更新が自動的に始まります。(更新が完了するまで時間がかかる場合があります。)
- ソフトウェアの更新が終わったら、本機が再起動しますので、そのあとにUSBメモリーを取りはずしてください。

お知らせ

- ソフトウェア更新中は、電源コードを抜かないでください。
- ソフトウェアを更新しても、すべての設定の内容は変更されません。
- 最新のバージョン以外のソフトウェアに更新することはできません。

ライセンス情報

本製品に使用されるソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されており、それぞれのソフトウェアコンポーネントには、当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品には、GNU General Public License(以下、GPL)およびGNU Lesser General Public License(以下、LGPL)に基づき利用許諾されるソフトウェアが搭載されています。

GPLソフトウェア : linux, module-init-tools, mount, sash, sysfsutils, GMP, autofs

LGPLソフトウェア : directfb, glibc

本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証等、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。

詳細については、**スタートメニュー** ⇒ **[設定]** ⇒ **[その他設定]** ⇒ **[ライセンス情報]** でご確認ください。

組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアの入手方法については、以下の連絡先にご連絡ください。

(連絡先)

〒652-0807

兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号 DXアンテナ株式会社

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

GPL、LGPLの使用条件につきましては次項以下のGPLおよびLGPLの原文を参照してください。

故障かな？と思ったときは

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	症状	原因と対応のしかた
電源	電源が入らない	- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 - 電源プラグを別のコンセントに差し込んでください。 - 一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。
	本機のボタン操作ができない、または本機が反応しない	- 本体の  を10秒以上長押しして本機をリセットするか、一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。
リモコン	リモコンで操作できない	- リモコン受光部に向けて操作していますか。 - リモコン受光部から離れたところから操作していませんか。 - 新しい乾電池に交換してください。 -   を確かめて正しく乾電池を入れてください。
再生	映像が映らない、または映像が乱れる	- 本機とテレビの電源は入っていますか。 - 接続をしている機器の接続をご確認ください。 - 本機で対応しているディスクかご確認ください。 - 本機が対応していないディスクや、異なるリージョンコードのディスクが入っていませんか。(本機が対応しているリージョンコードは、BDビデオは「A」、DVDビデオは「2」または「ALL」です。) - テレビはHDCPに対応していますか。 (HDCPに対応していない場合、正常に映像が出力されません。お手持ちのテレビやAVアンプなどについては取扱説明書をご覧ください。) - 電源を入れたまま、HDMIケーブルをテレビと本機から抜き挿ししてみてください。 - HDMIロゴ()の表示があるケーブルをお使いですか。 - 別のHDMIケーブルに取り替えて、接続しなおしてください。 - 「映像設定」( 26ページ)の設定をご確認ください。 - 早送り/早戻しをした直後などに、多少映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
	ハイビジョン画質で見ることができない	- 映像はハイビジョンで記録されていますか。 (ハイビジョンで記録された映像のみ、ハイビジョン画質で見ることができます。) - 本機を接続したテレビはハイビジョンに対応していますか。 (ハイビジョンに対応したテレビでのみ、ハイビジョン画質で見ることができます。)
	音声がでない、または音声がかき切れる	- 接続をしている機器の接続や音量を調節してください。 - 接続をしている機器やスピーカーの接続をご確認ください。 - 「音声設定」( 27ページ)の設定をご確認ください。
	AV アンプから音声が出ない	- AVアンプの電源が入っているかご確認ください。 - AVアンプの出力が正しいかご確認ください。 (詳しくは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。) - AVアンプがビットストリームまたはLPCMに対応しているかご確認ください。 (詳しくは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。対応している場合は、本機の「HDMI設定」から「音声出力設定」を設定してください。) - AVアンプの音量を調節してください。
	ディスクが再生できない	- 本機で対応しているディスクかご確認ください。 (DVDの場合、ファイナライズされているかご確認ください。) - ディスクを清掃してください。 - ディスクの印刷されている面を上にして正しく入れ直してください。 - 再生できないディスクが入っていませんか。 - ほかのディスクで再生できるかご確認ください。ほかのディスクで再生ができる場合、ディスクに不具合がある可能性があります。 - 視聴制限を解除するか、『視聴制限レベルについて』( 32ページ)を変更してください。 - 本機のソフトウェアを更新してください。 (発売して間もないディスクの場合、ソフトウェアを更新すると再生できることがあります。)
	AVCHD方式の動画が再生できない	- AVCHDファイルが正しくコピーされているかご確認ください。 - 本機はDVDに記録されたAVCHDファイル(「～.m2ts」や「～.mts」、「～.m2t」など)を単体で再生することはできません。ファイルとフォルダの相対関係がAVCHDの仕様にそった構造にしてください。 - AVCHDファイルをDVDやSDカードに記録するには、AVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。(詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。)

	症状	原因と対応のしかた
再生	再生中に一瞬画像が止まる	- 本機で対応しているディスクかご確認ください。 - ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。ディスクを清掃したり、キズのないディスクと取り換えて再生してください。 - ディスクに記録されたデータに問題がある可能性があります。
	再生中に操作ができない	- ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。 - ディスクの説明書をご覧ください。
	タイトルを選択しても再生が始まらない	- 視聴制限によって再生を禁止している可能性があります。 - 『視聴制限レベルについて』(※ 32 ページ)の設定をご確認ください。
	⓪ が表示される	- 再生中のコンテンツで禁止されている操作です
	JPEG ファイルが見つからない	- 最大ファイル数を超えていないかご確認ください。 - JPEG ファイルの拡張子が(.jpg / .JPG / .jpeg / .JPEG)になっていますか。
	アングルを変更できない	- 複数のアングルが記録されていないBDビデオまたはDVDビデオは、アングルを切り換えられません。 - また、特定の場面のみ複数のアングルが記録されているものがあります。
	PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)機能が利用できない	- ディスクの中には、再生する際にUSBメモリーが必要なものもあります。本機でフォーマットされたUSBメモリー(256GB以上)をご使用ください。 - 再生中はUSBメモリーを取りはずさないでください。
ディスク	BD-Live対応のディスクが再生できない	- 本機はインターネット接続に対応していないため、BD-Liveの機能はご使用いただけません。
	3D対応のディスクが再生できない	- 本機では、3D対応のディスクはご使用いただけません。
	ディスクの写真や絵が再生できない	- ディスクがUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで記録されたものであるかご確認ください。
	再生可能ディスクが読み込まれない	- 本機内部で結露が発生している可能性があります。 - 電源を「入」にしたまましばらく放置し、本体内部を乾かしてください。 - 『再生できるメディアとファイル』(※ 12 ページ)に記載しているディスクかご確認ください。 - ディスクを清掃してください。
	BDディスクの読み込みができず、ディスクトレイから取り出すことができない	- 電源プラグをコンセントから抜き、約20秒後に再びコンセントに差し込んでください。そのあとに  を押し、ディスクトレイからディスクを取り出してください。
USBメモリー	ディスクを取り出しても通常の画面に戻らない	- 内部エラーが発生している可能性があります。 - 一度電源を切り、しばらく経ってから再び電源を入れてください。
	USBメモリーが読み込まれない	- 互換性のないUSBメモリーが入っている恐れがあります。または、本機が対応していない記録フォーマットは認識しません。 - USBメモリーに保存されているデータが破損しています。 - 一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。 - 本体の  を10秒以上長押しして本機をリセットするか、一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。
	USB 機器の残り容量が少ない	- バイチャルパッケージ対応のBDビデオを再生すると、バイチャルパッケージがUSB機器に保存されることがあります。
その他	視聴制限で設定したパスワードを忘れた	- パスワード入力画面で[4]、[7]、[3]、[7]を入力すると、登録されていたパスワードが消去されます。そのあとで新たなパスワードを設定し直してください。(「パスワード変更」では[4]、[7]、[3]、[7]を入力してもパスワードは消去されません。)
	「ソフトウェアの更新に失敗しました。」とメッセージが表示される	- 最新のソフトウェアに更新してください。 - ソフトウェアの更新ができないときは、更新用ファイルの名称を以下のように変更し、USB機器に保存しなおしてください。そのあとにUSB機器からソフトウェアを更新してください。 「*****.bin」 ⇄ 「UPDATE10000FA2.BIN」
	デジタル音声出力を利用したい	- 本機にはデジタル音声出力用の光端子や同軸端子はありませんので、HDMIでの接続を行ってください。

お知らせ

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクによっては使えない機能もあります。

AAC(エーエーシー)

Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD並の音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行なうこともできます。

AVCHD

AVCHDは、ビデオカメラで撮影した高精細なハイビジョン映像を8cmDVD記録用ディスク上に記録できる、新しいフォーマットの名称です。

ハイビジョン映像をビデオカメラの撮影で記録できる新フォーマット規格「AVCHD」の再生が可能です。

AVCHDは、DVD-RW/-RまたはSDカードに記録したものが再生できます。

AVCREC

AVCRECは、ハイビジョン映像をDVDに記録するための規格の名称です。

BD-AV(ビーディーエーブイ)

ブルーレイディスクの映像および音声記録フォーマットの一つです。

Blu-rayレコーダーなどを使って、BD-RやBD-REなどの追記/書き換え式のディスクに書き込む際に使用します。

BD-J (Java) (ビーディージェイ)

BDビデオでは、Javaアプリケーションを利用し、本編の視聴に加え、ゲームや対話型コンテンツ等、よりインタラクティブな機能を楽しめるソフトがあります。

BDMV(ビーディーエムブイ)

一般に「BDビデオ」と呼ばれるもので、BD-ROMで利用されているフォーマットの一つです。

市販のBDビデオなどを制作する際に、BDディスクに映画などのビデオ映像を記録するのに使われている規格です。

DTS®(ディーティーエス)

Digital Theater Systemの略で、DTS社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD®(ディーティーエスエイチディー)

ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用された、従来のDTS®をさらに高音質・高機能化したデジタル音声技術です。多チャンネル、高データ転送速度、高サンプリング周波数や、ロスレス・オーディオ再生をサポートしています。ブルーレイ・ディスクでは、最大7.1チャンネルまで対応しています。

HDCP(エイチディーシーピー)

機器間でデジタル信号を送受信する際に、信号を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防止する著作権保護技術の一つです。

HDMI(エイチディーエムアイ)

High-Definition Multimedia Interfaceの略で、BD/DVDレコーダーやBD/DVDプレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェースです。映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続できます。

JPEG

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の一つです。データサイズを小さくできるので、広く使われています。

LPCM (リニアPCM)

PCMはPulse Code Modulationの略で、LPCMはデジタル音声をそのまま圧縮せずに記録する方式です。

MPEG(エムペグ)

Moving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。BDやDVDの映像は、この方式で記録されています。

PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)

PIP機能に対応したBDビデオの再生では、セカンダリ映像を含むシーンで、セカンダリ映像を楽しむことができる機能です。追加コンテンツをUSB機器に保存すると、より多くの再生機能を楽しむことができます。

アスペクト比

テレビ画面の縦横比率です。従来の標準テレビ画面の比率は4:3で、ワイドスクリーンテレビの画面の比率は16:9です。

インタラクティブオーディオ

BDビデオのタイトルなどに収録されている、操作しているときのクリック音などの音声です。

コピーガード

複製防止機能のことです。著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限する信号が記録されているソフトや番組を録画することはできません。

タイトル

BDビデオやDVDビデオに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。

ダウンミックス

サラウンド音声のチャンネル数を、より少ないチャンネル数に変換して再生する機能です。

チャプター

タイトルの中にある章をチャプターといいます。

トラック

音楽用CDの各曲ごとの区切りのことを「トラック」といいます。

ドルビーTrueHD

ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用されたロスレス符号化技術で、7.1チャンネルに対応しています。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタルの拡張版で、ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用された高音質デジタル音声技術です。

ビットストリーム

圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

ファイナライズ

本機で録画したDVD-RW、DVD-Rを、ほかのDVDプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

ブルーレイ・ディスク

片面1層のディスクで25GBの容量を持つ、ハイビジョン映像の映画やゲームなどの記録に対応したディスクです。

プレイリスト

オリジナルの映像とは別に編集用に作成された映像のことで、オリジナルの映像のお好みのシーンを順番に再生することができます。

ポップアップメニュー

ポップアップメニューが含まれたBDディスクの再生中に画面上で様々な操作ができる機能です。(ポップアップメニューの内容は、ディスクによって異なります。)

マルチボーダー(マルチセッション)

データの開始と終わりを表すデータ部分のことを「ボーダー(セッション)」と呼びます。マルチボーダーとは、1枚のディスクに追記などによって、データの開始と終わりを表すボーダー(セッション)が複数ある状態を言います。

リージョンコード

BDビデオやDVDビデオを再生できる国や地域を示すコードです。本機では、BDビデオのリージョンコードは「A」、DVDビデオのリージョンコードは「2」または「ALL」のビデオソフトを再生することができます。

1080プログレッシブ24フレーム

本機と1080プログレッシブ24フレームに対応しているテレビを接続すると、ブルーレイディスクを再生するときに高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。

言語コード一覧

言語名(順不同)	言語コード	言語名(順不同)	言語コード	言語名(順不同)	言語コード	言語名(順不同)	言語コード
アフガル語	4747	アイルランド語*	5347	マオリ語	5955	ソマリ語	6561
アブバシア語	4748	スコットランドゲール語	5350	マケドニア語	5957	アルバニア語	6563
アフリカーンス語	4752	ガルシア語	5358	マラヤーラム語	5958	セルビア語	6564
アムハラ語	4759	グアラニ語	5360	モンゴル語	5960	シスワティ語	6565
アラビア語	4764	グジャラート語	5367	モルダビア語	5961	セストゥ語	6566
アッサム語	4765	ハウサ語	5447	マラータ語	5964	スンダ語	6567
アイマラ語	4771	ヒンディ語	5455	マレー語	5965	スウェーデン語*	6568
アゼルバイジャン語	4772	クロアチア語	5464	マルタ語	5966	スワヒリ語	6569
バジキール語	4847	ハンガリー語*	5467	ミャンマー語	5971	タミール語	6647
ベラルーシ語	4851	アルメニア語	5471	ナウル語	6047	テルグ語	6651
ブルガリア語*	4853	国際語	5547	ネパール語	6051	タジク語	6653
ビハーリー語	4854	国際語	5551	オランダ語*	6058	タイ語	6654
ビスラマ語	4855	イヌピック語	5557	ノルウェー語*	6061	ティグリニャ語	6655
ベンガル語、バンガラ語	4860	インドネシア語	5550	プロバンス語	6149	トゥルクメン語	6657
チベット語	4861	アイスランド語*	5565	アフアン語、オロモ語	6159	タガログ語	6658
ブルトン語	4864	イタリア語*	5566	オリヤー語	6164	セツワナ語	6660
カタロニア語	4947	ヘブライ語	5451	パンジャブ語	6247	トンガ語	6661
コルシカ語	4961	日本語*	5647	ポーランド語*	6258	トルコ語*	6664
チェコ語※	4965	イディッシュ語	7155	パシュトー語	6265	ツォンガ語	6665
ウェールズ語	4971	ジャワ語	5668	ポルトガル語*	6266	タタール語	6666
デンマーク語*	5047	グルジア語	5747	ケチュア語	6367	トウィ語	6669
ドイツ語*	5051	カザフ語	5757	ラエティ＝ロマン語	6459	ウクライナ語	6757
ブータン語	5072	グリーンランド語	5758	キルンディ語	6460	ウルドゥ語	6764
ギリシャ語*	5158	カンボジア語	5759	ルーマニア語*	6461	ウズベク語	6772
英語*	5160	カナダ語	5760	ロシア語*	6467	ベトナム語	6855
エスペラント語	5161	韓国語*	5761	キニャルワンダ語	6469	ボラビュク語	6861
スペイン語*	5165	カシミール語	5765	サンスクリット語	6547	ウォロフ語	6961
エストニア語	5166	クルド語	5767	シンド語	6550	コーサ語	7054
バスク語	5167	キルギス語	5771	サンゴ語	6553	ヨルバ語	7161
ベルシャ語	5247	ラテン語	5847	セルビアクロアチア語	6554	中国語*	7254
フィンランド語*	5255	リンガラ語	5860	シンハラ語	6555	ズール語	7267
フィジー語	5256	ラオス語	5861	スロバキア語*	6557		
フェロー語	5261	リトアニア語	5866	スロベニア語	6558		
フランス語*	5264	ラトビア語、レット語	5868	サモア語	6559		
フリジア語	5271	マダガスカル語	5953	ショナ語	6560		

お知らせ

- **音声** または **字幕** を押したとき、*の付いている言語はそれぞれの言語名が表示され、それ以外の言語は『-』で表示されます。

主な仕様

一般

形名	DXBP2
信号方式	NTSC方式
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
待機時消費電力	0.5W
許容動作温度	5℃～35℃
許容湿度	80%最大
外形寸法	280(幅)×38(高さ)×198.5(奥行)mm
質量	約 1.03 kg(梱包含まず)

端子部

HDMI出力	Type A端子(19ピン) 1 系統
USB端子	USB 1.1、USB 2.0 準拠 TypeA DC5V 最大 500mA

お知らせ

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

×E

1) 保証書（梱包箱に貼り付けしてあります。）

保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、本取扱説明書と共に大切に保管してください。

2) 保証期間はお買い求めの日から1年間です。

本機は一般家庭用として作られています。各種の消耗部品については、業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも「有償修理」となります。

3) アフターサービスのご依頼について

- ◆ 保証期間中、万一製品が故障してしまった場合
この取扱説明書の「故障かな?と思ったときは」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、販売店にご持参いただくか、または最寄りのカスタマーセンターまで梱包の上、ご送付ください。（製品が破損しない様にご注意ください。）保証書の記載内容にしたがって修理させていただきます。
- ◆ 保証期間を過ぎて製品が故障してしまった場合
販売店にご持参いただくか、または最寄りのカスタマーセンターまで運賃元払い（お客様ご負担）にて、下記枠内の内容を記載した用紙を添付し、ご送付ください。修理によって製品の機能を維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理をご依頼される際にご連絡いただきたい内容：

- ◆ ご住所
- ◆ ご氏名
- ◆ 電話番号
- ◆ 故障または異常の内容
- ◆ 製品名
- ◆ 製造番号
- ◆ ご購入日

4) アフターサービスについてご不明な点は…

販売店、または最寄りのFUNAIカスタマーセンターまでお問い合わせください。

5) 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有してあります。

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入ください。

（この製品の製造番号は後面および保証書に記載してあります。）

お買い上げ年/月/日	年	月	日
お買い上げ店名/住所/電話番号	☎		
お買い上げ製品の型番	DXBP2		
お買い上げ製品の製造番号			

愛情点検

- 長年ご使用の製品の点検を！

（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）



このような
症状は
ありませんか

- ◆ 再生しても映像や音が出ない。
- ◆ 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ◆ 内部に水や異物が入った。
- ◆ ディスクを傷めた。
- ◆ その他の異常や故障がある。



ご使用
中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ずお買い求めの販売店にご連絡ください。

取扱い・修理に関するご質問は、まず **お買い上げの販売店へ** お問い合わせください。

販売店が分からずお困りの場合は、下記のご相談窓口までお問い合わせください。その際は、

・この製品の型番(取扱説明書又は保証書などに記載しています)・ご購入日・具体的な症状などをお教えください。

※故障の場合、お問い合わせの前にこの取扱説明書の「困ったときは」もご参照ください。

船井電機お客様ご相談窓口 お買い物・取扱い・修理・補修部品のご注文に関するお問い合わせ

音声ガイダンスに従って、お問い合わせの内容を電話のプッシュボタン(PB)信号で選択してください。担当するご相談窓口へおつながります。



0120-952-932 (通話料 無料)

各窓口の受付時間 9:00 ~ 17:30

(土曜・日曜・祝日及び夏季休暇・年末年始は除く)

・IP電話などで上記番号をご利用にならない場合は、各相談窓口まで直接お問い合わせください。(通話料: 有料)
・ナビダイヤルでのお問い合わせは、2010年3月末で終了しました。ご利用誠にありがとうございました。

1

お買い物相談・製品お取扱いのご相談

FUNA I カスタマーセンター(大阪)

電話 (06) 6746-3373 FAX (06) 6746-3374 (または、電話 (072) 871-1110 FAX (072) 871-1199)
Web <http://www.funai.jp/support/>

2

修理などのアフターサービスに関するご相談・修理品送付先問い合わせ

対象地区 西日本 (中部・近畿・中国・四国・九州・沖縄)

対象地区 東日本 (北海道・東北・関東・甲信越・静岡)

FUNA I カスタマーセンター(大阪)

電話 (06) 6746-3373 FAX (06) 6746-3374
住所 〒577-0012
大阪府東大阪市長田東3-2-43
長田SKパークビル1F
Web <http://www.funai-service.co.jp/repair/>

FUNA I カスタマーセンター(東京)

電話 (042) 679-5402 FAX (042) 679-5406
住所 〒192-0363
東京都八王子市別所 1-18-10

3

付属品(リモコンなど)・補修部品のご注文窓口

船井サービス株式会社 部品受注センター(全国)

電話 (06) 6748-7522 FAX (06) 0120-0271-82(通話料: 無料)
Web <http://www.funai-service.co.jp/shop/> (オンラインショッピング)

名称・所在地・電話番号は都合により予告無く変更する場合がございますので、ご了承ください。

各相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- ・お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ・また、折り返しお電話させていただくために、ナンバーディスプレイを採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、弊社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

DX アンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

受付時間9:00~17:30(土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く) ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

東京支店 HE課

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング7F
TEL(03)3526-5318 FAX(03)3526-5404

北関東支店 HE課

〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目312番地 OTビル2F
TEL(048)652-3311 FAX(048)652-3310

中部支店 名古屋営業部 HE課

〒462-0845 名古屋市中区柳原2丁目8番3号 ダイゴビル3F
TEL(052)919-6531 FAX(052)919-6536

大阪支店 HE課

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F
TEL(06)6889-1530 FAX(06)6889-1540

福岡支店 HE課

〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目9番21号
TEL(092)541-0168 FAX(092)512-4809

(1302)

販売元: **DX アンテナ株式会社** 〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号
製造元: **船井電機株式会社** 〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

※ 所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。(2014年10月現在)

Printed in China

ECLOOJH
2VMN00178 ★★★★★



* 2 V M N 0 0 1 7 8 *